

第4回受賞者事後支援

大賞

日本の伝統を次世代につなぐ循環を生み出す "0から6歳の伝統ブランド aeru"



「日本の伝統を次世代につなぎたい」という想いから、大学4年時である2011年3月、(株)和えるを創業、慶應義塾大学法学部政治学科卒業。2012年3月、幼少期から職人の手仕事に触れられる環境を創出すべく、「0から6歳の伝統ブランドaeru」を立ち上げました。このブランドは、赤ちゃん・子どもの頃から大人になっても使える日用品を、全てオリジナルで日本全国の職人と共につくっています。

大賞の事業奨励金は、社員育成、既存事業への文化的投資、また新規事業の資金として活用させて頂きました。メンタリングは、社内の仕組みづくりを改めて考え

るよい機会となりました。

創業から5年を迎え、日本の伝統や先人の智慧を暮らしの中で活かしながら次世代につなぐため、様々な入り口を増やす新たな事業展開が始まっています。『aeru room』は、ホテルのオーナー様からご依頼を頂き、地域や日本の伝統を体感できるお部屋をプロデュースしています。『aeru oasurae』は、職人と共にお客さまの想いを実現する、世界にひとつだけの物を”お誂え”します。創業20年を迎える2031年には10の事業を立ち上げ、暮らしの中で、日本の伝統に出逢える機会を増やしてまいります。



株式会社和える 代表取締役

東京都

矢島 里佳

優秀賞

“言葉にできない消費者の本音”を明らかにしていく会社



当社は、従来のアンケートや調査では解明できなかった、“見やすさ、わかりやすさ、感性”を明らかにするだけでなく、企業の抱える様々な問題解決のお手伝いをしています。

千葉大学工学部で開発された、デザイン心理学研究室の高い専門性をバックグラウンドに、心理学・人間工学の視点からコンサルティングを行っており、クライアントの9割以上が一部上場企業というベンチャーとしては特異な存在と言われています。

経営の知識もない中、起業し、手探り状態の6年間でした。今回の受賞及びメンタリングにより、迷いを振り切ることができた

ことが最大の収穫です。事業の方向性をはっきりと見えてきたことは、未熟な経営者であった私の自信につながりました。当社の武器は知的財産であり、それをどう活用していくか、専門家への相談、研究開発などに、事業奨励金を活用しました。

複数の大手企業との協業ビジネスがスタートし、プロジェクトベースのビジネスから、ライセンスビジネスへの事業の転換をはかっています。

社名BBSTONEは、エジプトにある尊厳の石 benbenstoneから名づけました。“人への尊厳を持った世界”へ寄与していきたいと思えます。



株式会社 BBSTONE
デザイン心理学研究所

代表取締役

千葉県

日比野 好恵

第4回受賞者事後支援



漁師と消費者を直接繋ぎ、漁業の六次産業化を推進



秋大島には、漁業の町秋市の漁獲高の大半を担う中型旋網船団が所属しています。近年の漁獲高の大幅な減少、経費の高騰、人材不足などにより地域経済は衰退の一途を辿ってきました。そこで、漁師さんと共に漁業の六次産業化を開始し、船上から漁獲直後の鮮魚を消費者へ直送するビジネスをスタートさせました。

メンタリングでは、事業が進む中で経営者としてぐらつき始めていた自分の考えの整理や、事業モデルの基盤を徹底的に固める作業

をお手伝い頂きました。時には厳しく、かつ非常に的確な指摘や助言によりPDCAを安心して回すことができた一年でした。

受賞以前は足踏みしていた全国への水平展開も開始し、北海道、鹿児島県、福井県の現場へ出向き、秋の漁業者を派遣して現場指導に当たっています。この事業の拡大により、漁業者の所得向上や雇用の創出、全国からのIJターン者の受け入れはもちろん、日本全国の漁業の六次産業化の推進による水産業の活性化に貢献していきたいと考えています。



株式会社 GHIBLI 代表取締役

山口県
坪内 知佳

第4回、第5回ファイナリスト

※表内の情報は応募時のものです。

	賞名	名前	所属	事業名	都道府県
第4回	大賞	矢島 里佳	株式会社和える	日本の伝統を次世代につなぐための「0から6歳の伝統ブランドaeru」事業の展開	東京都
	優秀賞	日比野 好恵	株式会社BBSTONE デザイン心理学研究所	情報弱者を救い、社会を変える～デザイン心理学に基づいた特許技術によるコンサルティングサービス(千葉大学工学部で開発された世界初の研究)	千葉県
	地域みらい賞	坪内 知佳	株式会社 GHIBLI	限りある全国の水産資源を最高の手入れと最高の管理で直接消費者の元へ。漁師の誇れる六次産業化と、日本食の美味しい!美しい!を明るく未来へ繋ぐ	山口県
	ファイナリスト	成田 由里	株式会社ウーマンスタイル	発酵食王国いしかわを全国に発信し、地域の魅力をPRする体験型プロジェクト「発酵食大学」の運営	石川県
	ファイナリスト	青野 里美	特定非営利活動法人ひよこ会	療育～就労まで一貫支援し、障がい者が自立でき、安心して自分らしく生活できる社会の創造を目指す、障がい児支援～障がい者就労支援事業	宮城県
	ファイナリスト	鯛 かおる	株式会社アトラステクノサービス	真空フライ技術のパイオニアとして、日本の食文化へ真空フライ加工を普及させ、農商工学連携で六次産業のど真ん中に挑戦	兵庫県
	ファイナリスト	高橋 陽子	ダンウェイ株式会社	開発した「ICT治具」で、障がい者の新たな職域拡大を目指す	神奈川県
	ファイナリスト	栗栖 弘美	kurisumade	ものづくり服飾技術を継承する教育・就職支援機能を付加した、都市型縫製工場の設置によるシェアファクトリー事業の展開	広島県
	ファイナリスト	原田 さやか	株式会社玉川きこり社	「きこりと子育て」をテーマに山村と街をつなぐプラットフォームビジネス	静岡県
	ファイナリスト	甲田 恵子	株式会社 AsMama	地域交流のリアルな場の創造と知人同士が子の送迎や託児をワンコインで頼り合えるネットの仕組み「子育てシェア」の全国展開。共助インフラ事業	東京都
第5回	大賞	毛見 純子	kay me 株式会社	世界の女性のキャリアを応援する課題解決型 オールジャパン仕事服ブランドkay me事業の展開	東京都
	優秀賞	石田 結実	上羽絵惣株式会社	日本古来の伝統色をベースにした、爪に優しい胡粉ネイルと京都コスメの開発・販売	京都府
	地域みらい賞	岩切 知美	有限会社成美	郷土・伝統料理、地域の食文化を繋ぐため、地域の資源を活用した加工食品事業の展開	大分県
	事業奨励賞	前 紅三子	株式会社タウンクリエーション	スマートフォンとNFC技術を活用したクラウド型バスロケーションシステム「BUSit(バスイット)」事業	広島県
	ファイナリスト	野口 莉加	合資会社アールウェディング	みんなに優しい引き出物宅配サービス 引き出物を「持ち帰る」から「ゲスト宅へ直送」する革新的宅配事業の展開	福岡県
	ファイナリスト	児玉 千賀子	特定非営利活動法人 アジェンダやまがた	山形市中心市街地で新たな福祉ビジネスモデルを実現し、中心市街地活性化に寄与し新たな公共を創造する	山形県
	ファイナリスト	内藤 ゆりや	ブルーフロンティア株式会社	増加する野生鹿を利用した高圧技術による栄養食・美容用品・ペットフードの製造・販売(ヒロシマモデルの展開)	広島県
	ファイナリスト	高橋 真知	株式会社 ATR Creative	世界の地図コンテンツを集めてGPS運動配信するデジタルマップホスティングサービス「ちずぶらり」	京都府
	ファイナリスト	谷水 ゆかり	谷水加工板工業株式会社	丹波の山奥から海へ! 建築の防音技術を船舶の新騒音基準に適合した船内居住区を実現	兵庫県
	ファイナリスト	角田 千佳	株式会社エニタイムズ	個人間のスキルシェアサービス「ANYTIMES」	東京都

体験型プロジェクト「発酵食大学」®の運営

女性モニター会員1200名の母体を持ち、石川県を中心に地域密着のマーケティングサポートを行い、女性視点を活かした商品開発やプロモーションを実施している。2013年、県内醸造企業の依頼が発端となり、発酵食品のプロモーション事業「発酵食大学」®を開始した。「発酵食」の学びを通して石川の発酵食品の認知を高め、地元発酵食メーカーのファンづくりを目的としたもので、大学・大学院・通信部の講座を設け、約1300名の受講生を輩出している。

第4回のコンペティションは本事業のブラッシュアップのために必要不可欠な経験であり、ビジョンの伝え方、ビジネスとして成り立つための重要課題を再認識し、ビジネスプランを熟考するきっかけとなった。今後は、日本伝統の発酵食に現代女性にとっての新たな価値を見出し、地域活性化のモデル事業となるべく活動していく。モノではなくコトを売る地方企業のブランディングプロジェクトとして、全国の発酵食品メーカーとのコラボも視野に入れている。



第4回 ファイナリスト

株式会社ウーマンスタイル 代表取締役

石川県
成田 由里

真空フライ技術のパイオニアとして、新しい食品マーケットを創造



当社は特許商品である連続循環ろ過装置の製造販売及び真空フライヤーの製造販売事業と、真空フライ技術の普及、農商工連携、六次産業化での技術利用や推進の為、技術知見の研究、国内外への技術指導、商品開発も事業化している。

機械メーカーとしての顔ばかりで事業を進めてきたが、真空フライの技術的な事業を第二創業にするという思いを、形あるものに表明でき、さらには、コンペへ応募した事業内容を実際に実現していくフローシートとなり、事

業化へのスピードアップを図ることができた。

関西ものづくり新選2016、ひょうごものづくり大賞技術部門賞の受賞など、機械メーカーとして今後も精度の高いものづくりを行っていききたい。また、兵庫県及び神戸市の農政部、JAとの連携を図り、地域農作物のブランド化や都市型農業を周知する役割を担っている。地域資源の新商品化を自分たちで実際に行い、真空フライ事業の神戸モデルを発展させ、傍らでは、国内外の地域創生に貢献できる事業を推進していきたい。



第4回 ファイナリスト

株式会社アトラステクノサービス 代表取締役

兵庫県
鯛 かおる

特別支援教育プログラム「だんだんシリーズ」を全国に展開

息子の障害をきっかけに、ダンウェイ(株)を設立。「障害者のその人なりの自立」「地域共生の実現」をビジョンとして掲げ、障害児者へのシームレスな教育提供、能力の可視化を行い、彼らの秘めた能力を発掘・開花することで、社会での自立の可能性をひろげることを目指している。その柱となっているのが、知的障害のある方でも使用できる、インテル(株)との協働で開発した「ICT治具」だ。第4回コンペティションでは受賞を逃したが、その悔しさをばねに、障害者をと

りまく社会の大きな課題解決にむけ、今期開発したのが、特別支援教育プログラム「だんだんシリーズ(ICT治具+テキスト+シラバス)」だ。主に学校現場や障害児者支援事業者へ提供を開始した。

今後は、このモデルをしっかり日本中に浸透させ、世界に発信することで、障害あるなしにかかわらずお互いが尊重し、認め合う社会を創造していきたい。そのためには、チャレンジ精神を忘れず、会社と社員が共に成長できる環境づくりを大事にしたい。



第4回 ファイナリスト

ダンウェイ株式会社 代表取締役

神奈川県
高橋 陽子

活躍するファイナリスト

地域の「人」「企業」を元気にする事業を展開



「広島に“あったらいいな”をカタチに」を理念に掲げ、西日本最大規模のシェアオフィス「SOORビジネスポート」を経営。ここを拠点に人と企業を繋げ、地場企業とクリエイターとのコラボ商品開発、創業支援、プロ紹介、セミナー情報サイト等、地域の「人」「企業」を元気にする事業を立ち上げている。

女性起業優秀賞受賞が全国ネットのTV番組にも紹介され、知名度や地元での評価も上がった。



第1回 「優秀賞」受賞

株式会社ソアラサービス

代表取締役

広島県
ごらい
牛来 千鶴

2016年12月21日、広島「製造業の連携」×「クリエイター」による観光客向け新ブランド【EARTH】を発表した。コンセプトは「世界はみんな繋がっている「ひとつながりの地球」」。世界へ届ける広島発のPeaceブランド【EARTH】は、プラスチック、シードビーズ、木工、化粧品等、世界に通ずる技術力を有する企業6社とコラボし、まずは20アイテムを商品化。今後は、広島「製造業300社」が参画する規模を目指し、世界に通ずるブランドを構築していく。

ワインボトル入り高級茶飲料「ROYAL BLUE TEA」の製造販売

お茶を淹れなくても、ワイングラスに注ぐだけで国賓クラスのおもてなしができるワインボトル入り茶飲料「ROYAL BLUE TEA」を自社一貫開発製造販売。G7伊勢志摩サミットなどで呈茶され、国際線ファーストクラス・高級レストランなど200か所以上の施設でご愛顧いただいている。世界の賓客に愛飲される秘訣は、厳格な品質管理体制、原材料は希少な最高級の茶葉のみを使用、不可能と云われた製造法を実現するため、国際的な食品品質管理認証SGS-HACCP認証を取得した工場で一貫

して手作業で製造している。

受賞後のブランディングのメンタリングが奏功し、年120%の成長率で事業が成長。2016年には規模拡張のため工場移転、念願の新社屋・直営ブティック開設、シンガポール・香港に現地法人を設立した。

今後は、直営店舗を全世界の主要都市に展開することで、ロイヤルブルーティーを世界一の高級ティーブランドにするとともに、日本の土壌・気候風土だからこそ育まれる高級日本茶をアピールし、日本を世界一の茶産地にしていきたい。

第2回 「大賞」受賞

ロイヤルブルーティージャパン株式会社

代表取締役社長

神奈川県

吉本 桂子



独自の発酵技術で米由来のエタノール等を開発、 カスタマー向けプロダクトの製造・販売



当社は独自の発酵技術を活用し、米からエタノールを製造している。世界的にも珍しい由来のわかるエタノールは、化粧品や雑貨の原料として高価格で販売する他、自社製品としてエタノールや副産物の発酵米を使った化粧品を開発している。2016年は、岩手の米と福島の桃（廃棄される種）を活用したボディミルクを開発した。また、エタノール製造時に出る粕を飼料に活用するゴミゼロのシステムを評価していただき、各地から視察や、ツアーのお客が増え、地域の農家さんとちと団体

を設立、地域の交流人口が増加している。

DBJコンペの後、メディアなどに取り上げて頂いたこともあり、販路が拡大し、自社商品は大手百貨店やセレクトショップなどでお取り扱い頂いている。また、DBJコンペで得たファイナリスト仲間の皆さんとの交流も、日々の励みとなっている。

現在は化粧品原料メーカーとして、米以外のハネ品の果物なども、発酵・蒸留して、各地の農家と連携した高品質の原料を提供する取り組みを進めている最中である。

第3回 特別賞「地域イノベーション賞」受賞

株式会社ファーマンステーション

代表取締役

岩手県

酒井 里奈